

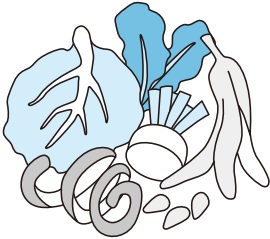
# 生ごみ

回収日 生ごみの日(週2回)

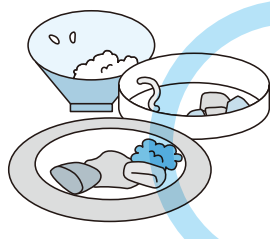
回収場所 ごみステーション

出し方 生ごみ指定袋(緑)

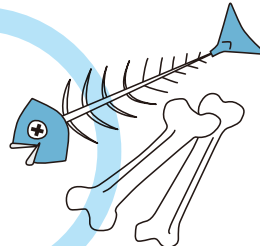
## 《堆肥化できる「生ごみ」》台所から出る「調理くず」「食べ残し」(例)



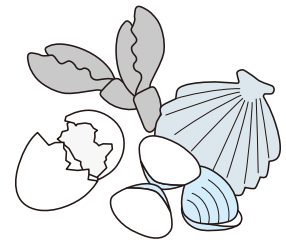
野菜・果実等調理くず



残飯



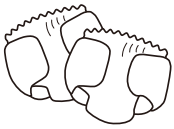
肉・魚類の骨



貝・カニ・エビ・卵の殻



## 《「生ごみ」として出してはいけないもの》食品以外のもの(例)



オムツ・衛生用品



チューブ類



菓子袋類



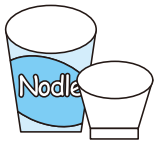
ペットボトル



アルミホイル



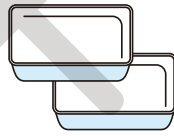
スプーン・フォーク



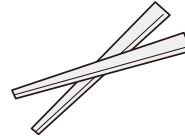
コップ・カップ類



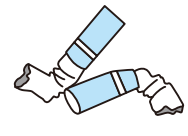
ラップ類・ビニール袋



トレイ・パック



わりばし



タバコ

水切りネット(生分解性を除く)等々…⇒プラ容器リサイクルやごみなどに分別して出す。

### 生ごみの出し方

- ① 分別された生ごみを十分に水切りをして
- ② 生ごみ指定袋で収集日に決められた場所に(専用バケツ)

### ○生ごみ指定袋の使用上の注意

1. 袋は冷暗所で湿気を避けて保管してください。  
高温多湿になるところでは、袋は長持ちしません。  
太陽光が直接当たる場所などは避け、日陰で風通しの良いところに保管してください。
2. 袋に生ごみを入れて長時間放置しないでください。  
生ごみ専用指定袋は微生物によって分解される袋です。  
袋に生ごみが入ったときから少しずつ分解が始まります。  
すぐには破れたりしませんが、生ごみを入れて長時間(2~3日) 放置するのは避けて下さい。
3. 分解できないものを入れないでください。  
容器やビニール袋が混入したものや、新聞、レジ袋で二重包装されたものは堆肥化出来ません。  
必ず生ごみだけを、よく水切りして、じかに生ごみ専用指定袋に入れてください。



生ごみ指定袋

※ 生ごみの分別回収は対象外の地域があります。町村の区分に従って下さい。